



STOP!! 糖尿病

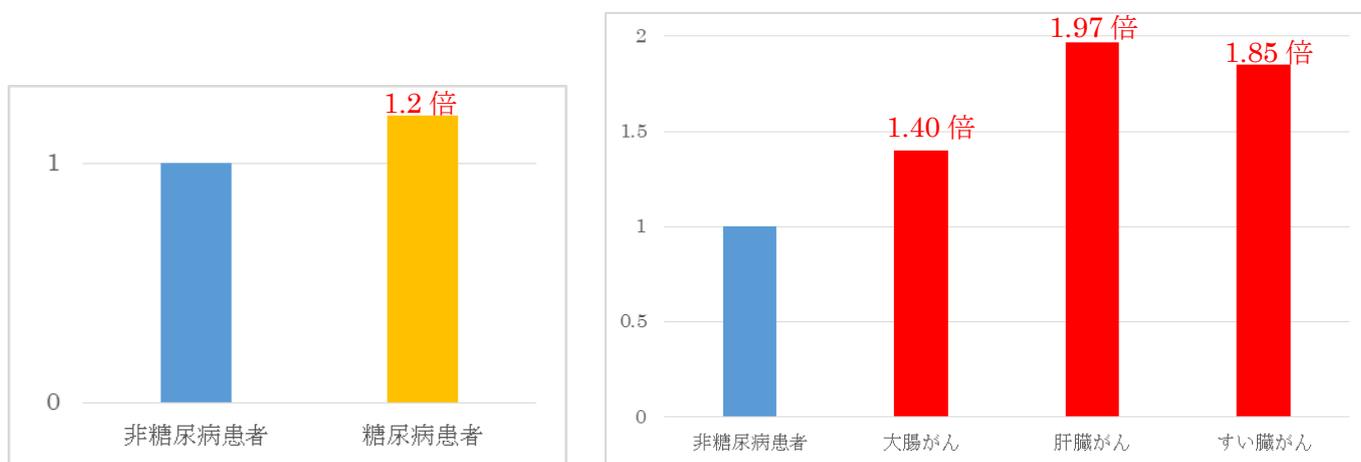
十和田市立中央病院 糖尿病ケア通信 R元年度 第8号



糖尿病とがんの関係

現在、日本人の2人に1人ががんにかかる時代とされていますが、最近になって糖尿病とがんの関係が徐々に明らかになってきました。2013年に日本糖尿病学会と日本癌学会の合同委員会が「糖尿病と癌に関する委員会報告」をまとめました。今回は、その内容を一部掲載いたします。

①糖尿病（主に2型糖尿病）は、日本人では大腸がん、肝臓がん、すい臓がんのリスク増加と関連しています。他の種類のがんについては、一定の結論が得られていません。



【グラフ：糖尿病患者のがんの発症リスク（左：がん全体、右：種類別）】

- ②健康的な食事、運動、体重コントロール、禁煙、節酒は2型糖尿病およびがんの予防につながる可能性があり、行うことがすすめられます。
- ③食事療法、運動療法、禁煙、節酒は、糖尿病の人にとってもがんの予防につながる可能性があります。
- ④糖尿病の人は性別・年齢に応じて適切に、科学的に根拠のあるがん検診を受診することが推奨されます。糖尿病で肝炎ウィルスが陽性の場合には、医療機関を受診して肝臓がんのスクリーニングを受けることが推奨されます。

【市町村で行われる科学的根拠に基づくがん検診の項目】

がん検診の種類	対象者	実施間隔	検査方法
胃	40歳以上の男女	年1回	問診および胃部エックス線検査
子宮	20歳以上の女性	2年に1回	問診、視診、子宮頸部の細胞診および内診
肺	40歳以上の男女	年1回	問診、胸部X線検査および喀痰細胞診
乳腺	40歳以上の女性	2年に1回	問診、視診、触診および乳房X線検査(マンモグラフィ)
大腸	40歳以上の男女	年1回	問診および便潜血検査

⑤特定の糖尿病治療薬とがんとの関係については、現時点でははっきりした結論は得られていません。医師の指示に従って、良好な血糖コントロールを維持することが大切です。